

勸業部の新陣容

技術官分散實現

對伯移植民事業は移民制限法
實施の後を受け来るべき時代
に備へて各組織の整理期に入
り、直接利害關係の多い海興
社等はいづれも改組を決定
した不安狀態から脱出して
新たな躍進を実現してゐるが
之等民間側の新情勢に對應し
て産業指導を表看板とする勸
業部では技術官を從來の如く
機に縛りつけ置く様なこと
をせず、伯国内各州は勿論ボ
リビア、ウルガ、チリ等に
派遣して邦人の新發展地、產
業調査等に當らしめることと
入植地、農業調査、ミナス一、
各州調査——南大河州の
一步を進めた。ある。
技術部門の擴充——現在
工業、新農産方面の陣容を
擴張するため新たに技術官が
派遣されることとなつてゐ
る。

邦人の入植地域となる可能
性が多いので、技術官、と/or
技術員の共同調査をする
ウルガは既に北村技术官

が在來の如く、技術官が新陣容
である。パラナ西部は未だ來
た。同僚初到着。

右のうち割合外四才未滿二
八名、割合外再渡航名で

ある。

右ブラジル、サンバウ。

アグリーナ、年。

アサツーパ、星加直次。

アグリーナ、年。

アグリーナ、

